◆◆「新しい川崎」メール版◆◆
----2 月 1 日・第 5 号----

＜目次＞

●少人数学級請願不採択・理由は財源？
■濃厚接触者・自主療養者への補償に大穴
▲お知らせコーナー
★編集後記

●少人数学級請願不採択に。理由は財源？

市民 8,824 名が求めた「川崎市立小中学校の 36 人以上の過大学級を無くすこと」の請願は、1 月 27 日、川崎市議会文教委員会で審議されました。
しかし、賛成したのは日本共産党大庭ゆうこ議員、片柳すすむ議員の 2 名だけで不採択になりました。
多くの市民の願いが届かなかったのは本当に残念です。

でも、川崎市で一刻も早く少人数学級を実現することの大切さが審議を通して明らかになり、さらに多くの声を集めれば実現できる！との希望が見えてきました。
論議を終始リードしたのは大庭ゆう子議員です。川崎市独自で少人数学級を推進することの３つの意義を、文科省や県議会の資料を活用して市教育委員会に認めさせました。

他会派の議員の理解も進んだはずです。
第 1 はコロナ感染に強い学校をつくる効果。多人数学級では身体的距離 2m は不可能です。

第 2 は市内で増え続けている不登校を減らす効果。
5 年前と比べて市内の不登校の数は、小学校で４ 29 人増え 807 人、中学校で 257 人増え 1373 人になりました。
これまでの市教委の不登校対策では効果がないことが明らかになりました。

第 3 は、県内自治体でも 36 人以上の学級がとびぬけて多い川崎市の学校だからこそ、市独自で推進することの必要性です。
35 人を超える学級数を県平均と比べると、小学校では約 2.9 倍の 40%、中学校では 1.4 倍の 72%にもなります。

質疑で市教委は「中学校においても、少人数によるきめ細やかな指導体制の整備が必要」と答弁しました。
それならば、「財源がない」と逃げるのでなく、子どもたちのために、多くの自治体が進めている「自治体独自の少人数学級の推進」を川崎でも進める決断を一刻もはやくしてほしいです。

■濃厚接触者・自主療養者への補償に大穴

A. 濃厚接触者が、会社を休む場合、会社の指示で休めば 60 %以上の休業補償を会社が支払わねばなりません。
しかし、本人の判断で休んだ場合は対象外です。
後から申請したとしても使用者の判断が難しくなります。

一方、この場合の休業手当を支払った会社に対しては、どこからの補填もありません。
これまで、保健所が発行する濃厚接触証明書を手がかりに休業補償を行っていたものが、自己判断になった場合、証明書の発行が出来るのか不明です。
濃厚接触者の自宅待機を要請しながらその費用は本人か会社持ちという実態があります。
このように補償無き待機要請では、「黙っていよう」という人が増えて、感染拡大に拍車がかかりかねません。

厚労省 Q&A（企業向け）
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/dengue_fever_qa_00007.html#Q4-1

B. オミクロン株による新型コロナ感染症の拡大は、1 週間の増加率が約 2 倍という状況が続いています。
神奈川県は、自主療養という方針を打ち出して、軽症者への対応を放り投げてしまいました。
濃厚接触の判断も保健所の判断に加え、個人の判断が可能となり、矛盾は広がります。

C. これまでコロナに感染して 3 日以上会社を休んだ場合、4 日目からの給料の 3/4 を傷病手当金で受け取ることが出来ました。
自主療養の場合にも同じように受け取ることが出来るかどうか、まだはっきりしていません。

D. 配食サービスは、1 月 28 日にステップ 3 に移行してからは、「重点観察者」を除き廃止しました。
これは、自主療養も医師や保健所の指示によるものも廃止対象という事です。
軽症者に対する対応を全て放り投げたような形です。

▲お知らせコーナー

２月 14 日（月）12 時～ 13 時、川崎市役所前。
市議会開会に合わせて市民の声を届ける、川崎市役所前宣伝行動を行います。
これから 4 年間の川崎市政の方向や 2022 年度の予算について、市民の暮らしを守るための切実な思い、要望を持ち寄り、訴えましょう。

★編集後記

1 月中のオミクロン株の増加率は 1 週間で約２倍でした。病床使用率は、2 月中旬には 100 ％に達する可能性があります。川崎市には、新しい事態に見合ったきめ細かい対策を期待します。

神奈川県は、無症状者の補足率を上げるために無料検査を始めました。
近所の薬局などで受けられます。以下のホームページで確認ください。
https://www.pref.kanagawa.jp/docs/ga4/covid19/vaccines/free_pcr.html